



Digital art crafting, sharing and learning made easy.

R1

**WIND
SYNTHESIZER
USER'S
MANUAL**

日本語

R1
WIND
SYNTHESIZER
USER'S
MANUAL

For firmware version 1.5

Please visit our website to obtain this manual in other languages.

Por favor inicie sesión en nuestro sitio web oficial para obtener las versiones en otros idiomas de este manual de usuario.

Consulter notre site officiel pour obtenir ce manuel d'utilisateur dans d'autres langues.

请登录我们的官方网站获取本用户说明书的其他语言版本。

公式サイトにアクセスいただき、多言語ユーザーマニュアルもお手にとっ
てご覧ください。




www.robkoo.com

ようこそ

Robkoo は、誰もがデジタルアーティストになれるようサポートします。

この度は、ウインドシンセサイザー R1 をお買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、すぐに参照できるように保管してください。

本書で使用されるアイコン

-  より良い使い方のヒント
-  故障や不具合の原因となる操作や警告
-  正しい操作

目次

▶ はじめに	1
▶ 各部の名称とはたらき	3
▶ ディスプレイ	8
パフォーマンスモード	8
MIDI モード	10
▶ 演奏方法	12
R1 の持ち方	12
マウスピースのくわえ方	12
基本運指表	13
パッチの選択	14
アーティキュレーション	14
▶ 基本設定	15
設定メニュー	15
ボリューム	16
リバーブ	16
トランスポーズ	17
▶ 詳細設定	18
パッチバンク	18
オクターブシフト	18
マジック・キー	19
[+] キー	19
[-] キー	19
ピッチベンド・ホイール	20
モーションコントロール	20
モーションアングル	20
ポルタメントタイム	21
ピッチベンドレンジ	21
MIDI チャンネル	21
ノートオンベロシティの固定	21
マスターチューニング	22
運指モード	22
ブレスカーブ	22
ブレスセンサー感度	23
演奏キー感度	23
▶ システム設定	24
BLE MIDI	24
ライト FX	24

オートパワーオフ	24
ディスプレイスリープ	25
言語設定	25
ファクトリーリセット	25
バージョン情報	25
▶ MIDI モード	26
R1 を接続する	26
MIDI モードでの演奏	26
JamKoo APP に接続する	27
▶ 付録	28
注意事項	28
お手入れ方法	30
トラブルシューティング	31
パッチリスト	32
運指表	34
MIDI メッセージ	37
仕様	38
保証概要	39
米国連邦通信委員会 (FCC - Federal Communications Commission) 通信妨害に関する声明	39

はじめに

▶ コンセプト

ウインドシンセサイザー R1 は、Robkoo が創り出す新しい形の管楽器です。感覚的に使いやすいデザイン、最先端のテクノロジー、リアルなサウンドを兼ね揃え、今までにない演奏体験を提供します。

▶ リアルなサウンド

R1 には世界で活躍するアーティストの演奏をサンプリングしたサウンドが搭載されています。リコーダーのように息を吹き込むだけで本格的なサウンドを楽しむことができます。

▶ 演奏スタイル

マウスピースを変えることでフルートスタイル、リコーダー（サクソ）スタイルの演奏が可能です。これまでにない自由な演奏体験をお楽しみください。

▶ タッチセンサー式の演奏キー

演奏キーには、レスポンスが早く低ノイズ、そして耐久性の高いタッチセンサーを採用しています。

▶ 独立した半音キー

生楽器のような演奏性を実現する半音キーを搭載。リアルで上品な表現力を発揮します。

▶ パッチスイッチ

瞬時に音色を切り替えられるパッチスイッチを搭載。演奏中でも簡単に操作でき、別の機能を割り当てることもできます。

▶ 3つのオクターブキー

オクターブキーを押すだけで、生楽器では演奏できない幅広い音域を演奏することができます。

▶ 回転式ピッチベンド・ホイール

感覚的に操作でき、信頼性の高い回転式のピッチベンド・ホイールを搭載。ポルタメントなどのピッチベンド以外のコントロールのスイッチとしても使用できます。

▶ 高精度ジャイロセンサー

揺らしたり、振ったりすることで演奏に表現を加えることができるジャイロセンサーを搭載。ビブラート、アーティキュレーション、ピッチベンドなどを割り当てる事ができます。

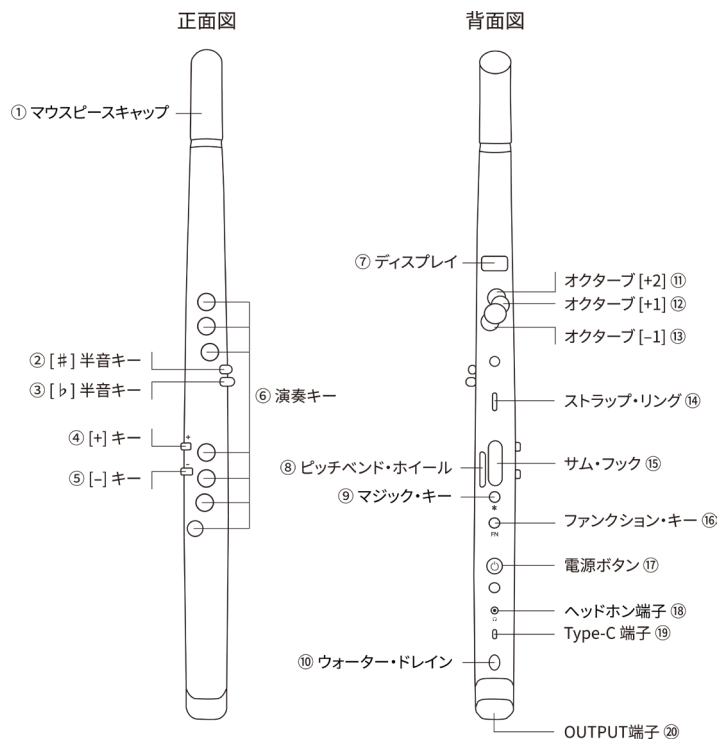
▶ 反応式 RGB ライト

60,000色以上を表示可能なサイバースタイルの RGB ライトを搭載。プレスや運指にも反応し、見た目にも美しい演奏ができます。

▶ 付属品

- マウスピースキャップ
- ネックストラップ
- ケース
- Type-C ケーブル
- 取扱説明書
- クイックスタートガイド
- RMH87（フルートスタイルマウスピース／島村楽器限定）

各部の名称と はたらき



① マウスピースキャップ

運搬時などにマウスピースを保護するためのカバーです。演奏する際は外してください。演奏後はマウスピースを清掃してから、マウスピースキャップを元に戻してください。

② [#] 半音キー

押している間、音を半音上げます。

③ [b] 半音キー

押している間、音を半音下げます。

④ [+] キー

演奏中：次のパッチへ切り替え
メニュー画面：次の項目へ移動、値の変更 (増やす)

 本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" で、演奏中にこのキーを押したときの動作を変更することができます。

⑤ [-] キー

演奏中：前のパッチへ切り替え
メニュー画面：前の項目へ移動、値の変更 (減らす)

 本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" で、演奏中にこのキーを押したときの動作を変更することができます。

⑥ 演奏キー

演奏キーを押さえながらマウスピースで息を吹き込むことで、音を鳴らすことができます。押さえるキーの組み合わせ (運指) によって、音程を変えることができます。R1 には様々な運指が搭載されています。

 運指一覧を見るには本書の「付録-運指表」をご覧ください。

⑦ ディスプレイ

現在のパッチ、キー、オクターブ、本体の状態、メニュー項目などを表示します。

⑧ ピッチベンド・ホイール

デフォルトでは、上下に押すことで音の高さを変えることができます。

- ✎ ポルタメント機能のオンオフなど、ピッチベンド以外の機能を上下それぞれに割り当てることができます。本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" で設定できます。

⑨ マジック・キー

デフォルトでは、マジック・キーを押すとポルタメントが有効になります。もう一度押すと、ポルタメントが無効になります。

- ✎ マジックキーには Sound 2 への切り替えなど、別の機能を割り当てる事ができます。本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" で設定できます。

⑩ ウォーター・ドレイン

本体内部に溜まった水滴はウォーター・ドレインから排出されます。柔らかい布で拭き取ってください。ウォーター・ドレインを塞がないようにしてください。

⑪ オクターブ [+2]

演奏中に押すと 2 オクターブ上の音が鳴ります、離すと元に戻ります。

⑫ オクターブ [+1]

演奏中に押すと 1 オクターブ上の音が鳴ります、離すと元に戻ります。

- ✎ R1 と JamKoo APP を接続することで、オクターブ [+1]、[+2] を同時に押したときの動作を設定することができます。
- ✎ オクターブキーを使わずに 1 オクターブ以上の音域を出せる運指があります。本書の「付録 - 運指表」をご覧ください。

⑬ オクターブ [-1]

演奏中に押すと 1 オクターブ下の音が鳴ります、離すと元に戻ります。

⑭ ストラップ・リング

ネックストラップを装着するためのパーツです。

- ✎ R1 の落下を防ぐためにもネックストラップの使用をおすすめします。

⑮ サム・フック

右手の親指をサム・フックの下に置き、R1 を支えます。

- ✎ ネックストラップを使用することで親指の負担が減り、より演奏しやすくなります。

⑯ ファンクション・キー

ファンクション・キー (FN) を押しながら、別のキーを押すことで、さまざまな機能呼び出すことができます。

一緒に押すキー	ショートカット
[#] キー	押すたびに上に半音ずつトランスポートします
[b] キー	押すたびに下に半音ずつトランスポートします
オクターブ [+1]	すべての音を 1 オクターブ上げます (オクターブシフト)
オクターブ [-1]	すべての音を 1 オクターブ下げます (オクターブシフト)
[+] キー	次のパッチに移動します
[-] キー	前のパッチに移動します
マジック・キー	設定メニューを開きます

- ✎ オクターブシフトについては、本書の「詳細設定 - オクターブシフト」で詳しく説明しています。

⑰ 電源ボタン

- 電源オン：電源ボタンを2秒間押し続ける。
- 電源オフ：電源ボタンを3秒間押し続ける。
- 電源が入っているときに1度だけ軽く押すと、電池の残量をフルスクリーンで表示します。

⑱ ヘッドホン端子

ヘッドホン用 3.5mm TRS ステレオ出力端子です。ヘッドホン / イヤホンを接続して、演奏を楽しむことができます。

- ✕ ヘッドホンを装着する前に、適切な音量になっているか確認してください。
- 🔧 OUTPUT 端子にケーブルが接続されている状態でもヘッドホン端子から音声が出力されます。ステージ上でのモニターとして使用できます。

⑲ Type-C 端子

R1 の充電とデータ転送ができます。
この端子からコンピューターやスマートデバイスに接続することで、R1 のバージョンアップや充電、データのやり取りができます。

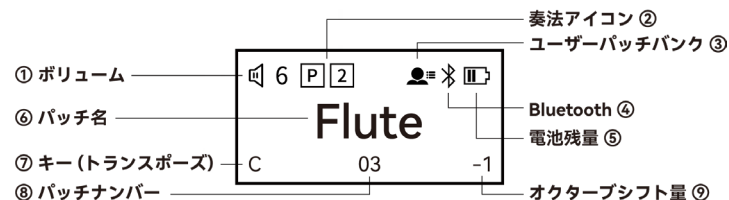
⑳ OUTPUT 端子

6.35mm TRS オーディオ出力端子です。ミキサーやアンプに接続する際は、この端子を使用します。

- ✕ 誤動作や機器の故障を防ぐため、OUTPUT 端子にケーブルを接続する際は、必ず音量を下げてください。

ディスプレイ

パフォーマンスモード



① ボリューム

現在の音量とミュートの状態を表示します。

② 奏法アイコン

現在適用されている奏法のアイコンが表示されます。[P] は「ポルタメント」を表します。[P] が表示されているときはポルタメントがオンになり、音程を切り替えたときに音がなめらかに繋がります。

[2] は「Sound 2」を表します。[2] が表示されているときは、Sound 2 に切り替わります。パッチによっては Sound 2 がない場合があります

- 🔧 パッチにどのような Sound 2 が割り当てられているかは、本書の「付録 - パッチリスト」をご覧ください。

③ ユーザーパッチバンク

ユーザーパッチバンク内のパッチを選択しているときに表示されます。ファクトリーパッチバンク内のパッチを選択しているときは表示されません。

- 🔧 パッチバンクについては、本書の「詳細設定 - パッチバンク」をご覧ください。

④ Bluetooth

Bluetooth MIDI が有効なときに表示されます。本体の Bluetooth MIDI がオンになっていれば、デバイスが接続されていても、されていなくても表示されます。本体の Bluetooth MIDI がオフのときは表示されません。

⑤ 電池残量

電池残量が表示されます。

⑥ パッチ名

現在選択されているパッチ名が表示されます。

⑦ キー（トランスポーズ）

ファクトリーパッチバンク選択中は、グローバルキーが表示されます。キーを変更すると、ファクトリーパッチバンク内すべてのパッチに反映されます。

ユーザーパッチバンク選択中は、現在のパッチのキーが表示されます。ユーザーパッチバンクはパッチごとにキーを設定できます。

ファンクション・キーを押しながら [#] キーまたは [b] キーを押すことでトランスポーズをすることができます。ファンクション・キーを押しながら [#] キーと [b] キーを同時押しすることでデフォルトの C キーに戻すことができます。

⑧ パッチナンバー

現在選択しているパッチの番号を表示します。

⑨ オクターブシフト量

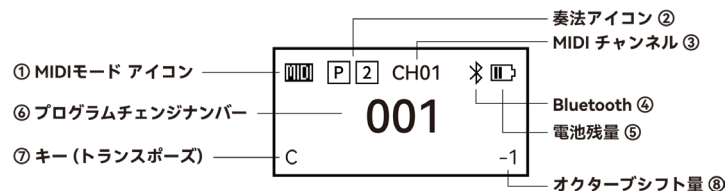
デフォルトでは設定されていません。本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" でオクターブシフトの設定を行っている場合は、オクターブシフト量が表示されます。キー設定と同様にファクトリーパッチバンクを適用している場合は、バンク内すべてのパッチに適用されますが、ユーザーパッチバンクではパッチごとにキーを設定できます。



オクターブシフトのショートカットが搭載されています。本書の「各部の名称とはたらき - ファンクション・キー」でご確認ください。

MIDI モード

R1 を DAW や JamKoo APP に接続すると、MIDI モードに切り替わります。



① MIDI モード アイコン

R1 が MIDI モードのときに表示されます。JamKoo APP に接続している場合は、JamKoo アイコンが表示されます。

② 奏法アイコン

現在適用されている奏法のアイコンが表示されます。「P」は「ポルタメント」を表します。「P」が表示されている間は、演奏情報と一緒に CC 65 が送信され音源側のポルタメントをトリガーします。接続している音源がポルタメントに対応している必要があります。「2」は「Sound 2」を表します。オンになっている間は演奏情報と一緒に CC80 が送信されます。

③ MIDI チャンネル

現在の MIDI チャンネルです。チャンネル 1～16 の場合、「CH01」～「CH16」と表示されます。

④ Bluetooth

Bluetooth MIDI が有効なときに表示されます。本体の Bluetooth MIDI がオンになっていれば、デバイスが接続されていても、されていなくても表示されます。本体の Bluetooth MIDI がオフのときは表示されません。

⑤ 電池残量

電池残量が表示されます。

⑥ プログラムチェンジナンバー

現在のプログラムチェンジナンバーが表示されます (001 ~ 128)。

⑦ キー (トランスポーズ)

現在のキーを表示します。MIDI モード時のすべてのプログラムチェンジナンバーで共通の設定です。

⑧ オクターブシフト量

オクターブシフト (ファンクション・キー+オクターブ [+1]/[-1]) している場合、オクターブシフトの量を表示します。オクターブシフト量は、MIDI モード時のすべてのプログラムチェンジナンバーで共通の設定です。

演奏方法

R1 の持ち方


図のように、左手を上、右手を下にして、R1 を持ちます。左手の親指をオクターブキーの間にある円形の部分に置きます。右手の親指はサムフックの下に置き、サムフック使って全体を支えます。



 ネックストラップの装着をお勧めします。

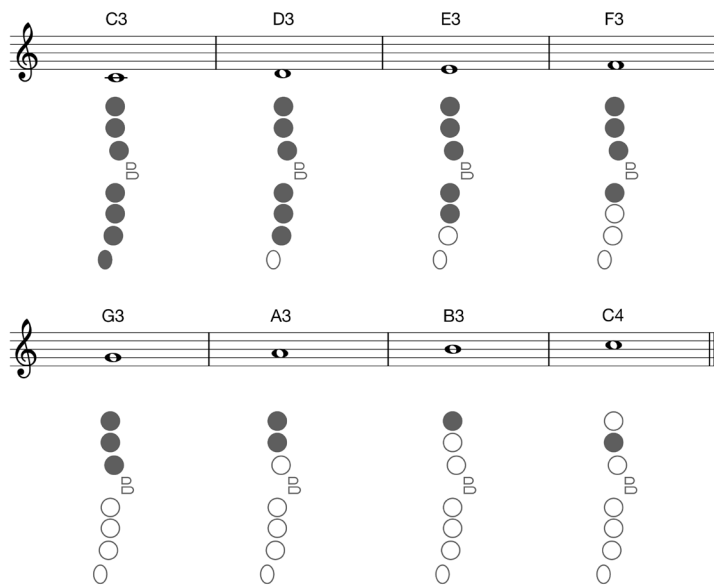
マウスピースのくわえ方

- 基本の使い方: マウスピースをストローのように唇で優しく包み込みくわえます。
- マウスピースパッチを使う場合: マウスピースの上部にサクソやクラリネット用のマウスピースパッチを貼り付けます。パッチで覆われた部分を上の前歯でささえ、上唇をかぶせてくわえてください。

 マウスピースの破損を避けるため、マウスピースを強く噛まないでください。

基本運指表

● 演奏キーをタッチ ○ 演奏キーを離す



● 本体メニュー内の "Settings - Advanced Settings" で別の運指に切り替える事ができます。本書の「付録 - 運指表」で別の運指表を確認できます。

パッチの選択

パッチ切り替えの操作方法は、1つだけではありません。以下の操作方法でパフォーマンスモードとMIDIモードどちらでもパッチ切り替えを行うことができます。

▶ 通常のパッチ切替方法

- [+] キーを押すと次のパッチに移動します。
- [-] キーを押すと前のパッチに移動します。

パッチ番号は順番に沿ってループで切り替わります。

● どちらのキーも押したときの動作をカスタマイズすることができます。本書の「詳細設定」をご覧ください。

▶ 別のパッチ切替方法

以下の切替方法は [+] キーと [-] キーを押したときの動作のカスタマイズをしている場合でも使用することができます。

- ファンクション・キーを押しながら [+] キーを押すと、次のパッチに移ります。
- ファンクション・キーを押しながら [-] キーを押すと、前のパッチに戻ります。
- [+] キーと [-] キーを同時に押すと、パッチ番号 01 に戻ります。

アーティキュレーション

タンギングやキー操作、R1 本体を持ち上げることで、演奏にアーティキュレーションを追加することができます。どの動作でどのようなアーティキュレーションを追加するかは本体メニュー内の "Settings - Advance Settings" より設定してください。

● 本書の「詳細設定」、「付録 - パッチリスト」で R1 に搭載されているアーティキュレーションの一覧をご覧いただけます。

基本設定

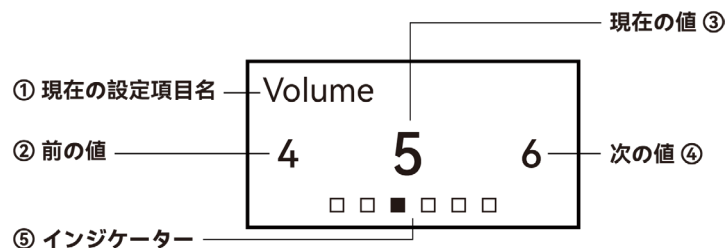
設定メニュー

ファンクション・キーを押しながらマジック・キーを押すと、設定メニューが開きます。

▶ 設定メニューの操作方法

- ・マジック・キー：確定 / 入力
- ・ファンクション・キー：キャンセル / 戻る
- ・[+] キー：次へ / 値の増加
- ・[-] キー：前へ / 値の減少

▶ 設定メニューの画面表示



① 現在の設定項目名

現在設定を行っている項目名です。

② 前の値

現在選択している値の一つ前の値です。

③ 現在の値

現在選択している値です。
マジック・キーを押すとこの値で確定します。

④ 次の値

現在選択している値の次の値です。

⑤ インジケーター

メニュー内の現在の位置を表します。

▶ 専用アプリ「JamKoo APP」での設定

R1 が JamKoo APP に接続されている間は、アプリ内の「Devices」ページに R1 が表示されます。R1 をタップすると R1 のすべての設定をアプリ内で行うことができます。

 JamKoo APP については、本書の「MIDI モード - R1 を接続する」で詳しく説明しています。

ボリューム

ヘッドホン端子ならびにアウトプット端子から出力される音量を調整します。1～10 の 10 段階と音を出さないミュートから選択できます。



リバーブ

演奏モード時のリバーブレベルを調整します (MIDI モードでは R1 内蔵のリバーブは動作しません)。1～5 の 5 段階とオフから選択できます。



トランスポーズ

トランスポーズ (キー) を設定します。
G, A^b, A, B^b, B, C (デフォルト), D^b, D,
E^b, E, F, F[#] の12種類から選択できます。

ファクトリーパッチバンクを選択している場合はすべてのパッチバンクに適用されますが、ユーザーパッチバンクを選択している場合は、選択しているパッチにのみトランスポーズが適用されます。



 パッチバンクについては、本書の「詳細設定 - パッチバンク」をご覧ください。

詳細設定

本体メニュー内の "Advanced Settings" から詳細設定に入ります。



パッチバンク

この設定ではパッチバンクの切り替えができます。




▶ ファクトリーパッチバンク

出荷時から搭載されているデフォルトのパッチバンクで、順番が固定されています。ファクトリーパッチバンク内では、ボリューム、トランスポーズ、リバース、オクターブシフトの設定は、すべてのパッチで共通の設定になります。例えば、R1 を G キーにトランスポーズすると、ファクトリーパッチバンク内のすべてのパッチが G キーにトランスポーズされます。

▶ ユーザーパッチバンク

ユーザーパッチバンクはユーザーが自由に編集できるパッチバンクです。ユーザーパッチバンクを使用することで、ステージでの演奏の際などより実践的なシチュエーションに柔軟に対応できます。ユーザーパッチバンクでは、パッチの順番を並べ替えたり、それぞれパッチごとに個別にトランスポーズ、オクターブシフトの設定をすることができます。

 ユーザーパッチバンク適用中は、R1 本体の設定で行ったトランスポーズとオクターブシフトは、選択しているパッチにのみ影響します。

オクターブシフト

ファクトリーパッチバンクを選択しているとき、または MIDI モードのときに、すべてのパッチのオクターブを -3 ~ +3 の範囲でシフトします。ユーザーパッチバンクが適用されている間は無効になります。



マジック・キー

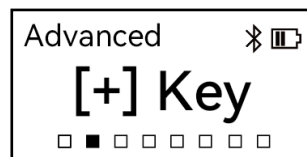
マジック・キーに割り当てる機能を変更することができます。マジック・キーを1回押すと割り当てた機能が有効になり、もう一度押すと無効になります。

- ポルタメント (デフォルト): 音程を切り替えたとき音がなめらかに繋がります。
- Sound 2: 現在のパッチの Sound 2 へ切り替えます。



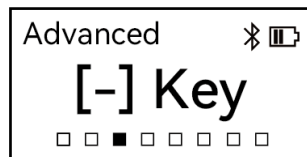
[+] キー

- 次のパッチ (デフォルト): 次のパッチへ切り替えます。パッチナンバーが上がります。
- Sound 2: 押している間、現在のパッチの Sound 2 へ切り替えます、離すと元に戻ります。
- MIDI チャンネル +: MIDI モード時の MIDI チャンネルを切り替えます。押すと MIDI チャンネルが次のチャンネルに切り替わります。チャンネルナンバーは 16 までです。



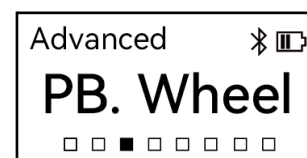
[-] キー

- 前のパッチ (デフォルト): 前のパッチへ切り替えます。パッチナンバーが下がります。
- Sound 2: 押している間、現在のパッチの Sound 2 へ切り替えます、離すと元に戻ります。
- MIDI チャンネル -: MIDI モード時の MIDI チャンネルを切り替えます。押すと MIDI チャンネルが前のチャンネルに切り替わります。チャンネルナンバーは 01 から始まります。



ピッチベンド・ホイール

- ピッチベンド (デフォルト)
- ポルタメント / ピッチダウン: ホイールを押し上げるとポルタメントが有効になり、離すと元に戻ります。ホイールを押し下げるとピッチダウンします。
- Sound 2 / ピッチダウン: ホイールを押し上げている間 Sound 2 に切り替わり、離すと元に戻ります。ホイールを押し下げるとピッチダウンします。
- オフ: ピッチベンドホイールを無効にします。



モーションコントロール

モーションコントロールが有効になっているとき、R1 がある角度まで持ち上げると、設定したコントロールが作動します。

- オフ: モーションコントロールを無効にします。
- Sound 2: R1 を持ち上げている間 Sound 2 に切り替わります。
- ピッチベンド: R1 を持ち上げるとピッチが上がり、戻すと元に戻ります。
- ポルタメント: R1 を持ち上げるとポルタメントが有効になり、戻すと無効になります。
- ビブラート (デフォルト): R1 を持ち上げるとビブラートがオンになり、戻すとオフになります。R1 を持ち上げる角度を大きくすると、ビブラート効果が強くなります。MIDI モードではモーションコントロールが CC1 (モジュレーション) にアサインされ、持ち上げる角度を大きくするほど大きな値が送信されます。値は 1~127 の範囲で送信されます。



モーションアングル

モーションコントロールが動作する角度を調整します。1~5 までの 5 段階があります。数値が小さいほど動作しやすくなります。デフォルトではレベル 3 に設定されています。



ポルタメントタイム

ポルタメントの速さを調整します。1～5の5段階で設定でき、数字が小さいほど速くなります。



ピッチベンドレンジ

ピッチベンドコントロールを、半音、全音、1音半の中から設定します。この設定はピッチアップ/ピッチダウンどちらの方向にも適用されます。



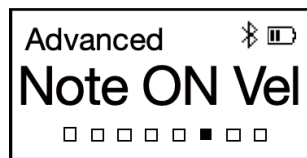
MIDI チャンネル

MIDI モード時にどの MIDI チャンネルを使用するかを選択します。CH 01～16の16チャンネルが使用可能です。



ノートオンベロシティの固定

MIDI モード時のみに適用され、デフォルトではオンになっています。オンのときは、MIDI モードでのノートオンベロシティの値はすべて100で出力されます。プレスコントロールに対応していない音源など、うまく音源を鳴らせない場合に使用します。



オフのとき、MIDI モードで送信されるノートオンベロシティは、発音し始めたときのプレスコントロールの値になります。オフにすると、MIDI モードでダイナミクスの違う複数の音源をレイヤーした音色を演奏する際に役立ちます。

マスターチューニング

デフォルトでは440Hzに設定されています。必要に応じて、435Hz～445Hzの間で調整ができます。



運指モード

様々な管楽器プレーヤーのために、複数の運指モードが用意されています。デフォルトではサクソ（リコーダー）運指になっています。

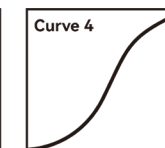
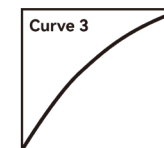
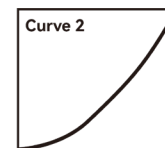
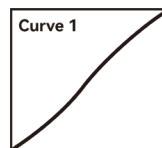
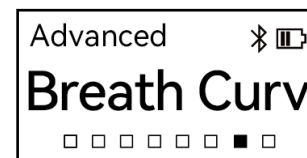


本書の「付録 - 運指表」に、R1に搭載されている運指モードの運指表が掲載されています。ファームウェアアップデートにより、新しい運指モードが利用可能になる場合があります。最新の運指表はRobkoo公式サイト（www.robkoo.com）でご確認ください。



ブレスカーブ

ブレスセンサーのベロシティカーブを設定します。以下の4種類のベロシティカーブから設定できます。横軸はブレスの強さ、縦軸はベロシティを表します。



ブレスセンサー感度

ブレスセンサー感度を調整します。1～5の5段階があり、デフォルトはレベル3です。レベルが低いほど、少ない息でR1を鳴らすことができます。



演奏キー感度

演奏キーの感度を調整します。1～8の8段階があり、初期設定はレベル6です。数値が小さいほど、演奏キーの反応が速くなります。



演奏キーの感度が高すぎると、不要な音が出してしまうことがあります。その際は設定する数値を大きくしてください。



システム設定

本体メニュー内の "System Settings" からシステム設定に入ります。



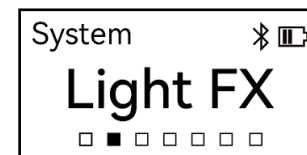
BLE MIDI

デフォルトでは有効になっています。BLE MIDI が有効になっているとき、ディスプレイの右上に Bluetooth のアイコンが表示されます。R1 は、BLE MIDI を使用してスマートフォンやパソコンなどのスマートデバイスと接続し、MIDI コントローラーとして使用することができます。



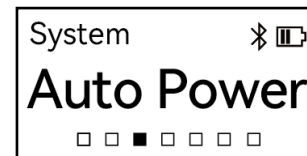
ライト FX

本体側面に搭載されている反応式 RGB ライトのライトエフェクトを切り替えます。3種類のファクトリーエフェクト、ユーザーが設定できるカスタムスロット、ライト OFF の中から設定できます。JamKoo APP と接続することでオリジナルのライトエフェクトを作成することができます。



オートパワーオフ

R1 は一定時間操作がなかった際に自動的に電源がオフになります。この設定ではオートパワーオフまでの時間を設定します。5分、30分、60分、オートパワーオフをしない、から設定できます。



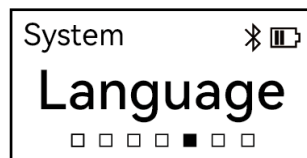
ディスプレイスリープ

ディスプレイスリープをオンにすると演奏中はR1のディスプレイが消灯します。演奏をやめるとディスプレイが点灯します。



言語設定

英語と中国語（簡体字）に対応しています。



ファクトリーリセット

ユーザーパッチバンクを含むすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。



バージョン情報

モデル名、シリアルナンバー (SN)、ファームウェアバージョン (FW)、サウンドバンクバージョン、サウンドエンジンバージョン、ブートローダーバージョンが表示されます。ファームウェアは、JamKoo アプリを利用してアップデートできます。シリアルナンバーはR1本体底面にも印刷されています。



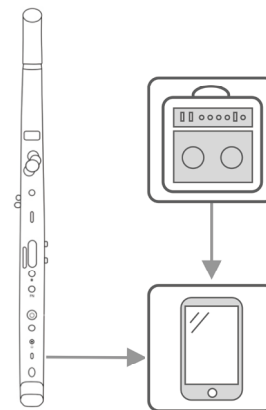
MIDI モード

R1 を接続する

R1 を MIDI コントローラーとして使用し、コンピューターやスマートデバイス上の音源プラグインで演奏することができます。

▶ USB MIDI

図のように、R1 とコンピューターやスマートデバイスを USB ケーブルで接続します。R1 はケーブルを通して MIDI コントロールを送信し、接続されたデバイスは音を出します。



▶ BLE MIDI

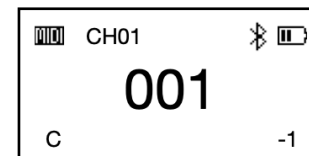
R1 には、BLE (Bluetooth Low Energy) MIDI 接続機能が内蔵されています。BLE MIDI を有効にすると、R1 はコンピューターやスマートデバイスとワイヤレスで接続することができます。

R1 の Bluetooth デバイス名は、デフォルトでは「ROBKOO R1 - (シリアル番号の下 4 桁)」に設定されています。Bluetooth デバイス名は、JamKoo APP を使って変更できます。

 シリアル番号 (SN) は、R1 本体の底面または本体メニュー内の "System - Version Info." で確認できます。

MIDI モードでの演奏

コンピューターやスマートデバイスとの接続に成功すると、R1 は MIDI モードに切り替わり、ディスプレイに図のような画面が表示されます。R1 本体内蔵の音色は MIDI モード時でも演奏することができますが、ディスプレイにはパッチナンバーは表示されずプログラムチェンジナンバーのみが表示されます。



JamKoo APP に接続する

▶ ダウンロード (無料)


App Store または Google Play ストアで "JamKoo" と検索し、JamKoo APP をダウンロードしてください。ダウンロードは無料です。



JamKoo

▶ 接続する


R1 を JamKoo APP を起動したスマートデバイスの近くに置くと、JamKoo APP 内のデバイスページにお持ちの R1 が表示されます。USB Type-C ケーブルでスマートデバイスと有線で接続することもできます。接続に成功すると "Connected" というメッセージが表示されます。

 R1 とスマートデバイスどちらも Bluetooth 機能がオンになっていることを確認し、スマートデバイス本体の設定で JamKoo APP が Bluetooth を利用できるように設定してください。

▶ JamKoo サウンドを使用する

JamKoo APP に接続すると、R1 を MIDI コントローラーとして使用して、JamKoo APP 内の音色「JamKoo サウンド」を利用して演奏ができます。JamKoo サウンドはアプリ内に用意されている音色以外にも、オンラインで追加することができます。サウンドはすべてスマートデバイスから出力されます。

▶ その他の機能 (Bluetooth 接続時)


「」をタップすることで MIDI デバイスを管理することができます。

- Quickstart: R1 タブからクイックスタートガイドと解説動画を見ることができます。
- Settings: 接続した R1 の本体設定ができます。
- User patch bank: R1 の設定ページで「ユーザーバンク」をタップすると、オリジナルのパッチリストが作成できます。パッチの順番を入れ替えたり、パッチごとのトランスポート設定を行ったりなど、様々な設定を行うことができます。
- Custom fingerings: R1 の設定画面内の "Fingering Mode" では運指モードの変更ができ、好きな運指を自由に追加することができます。

付録

注意事項

R1 を使用する前に必ずお読みください。

 感電や破損など、けがや故障の原因となる危険な事象を避けるため、R1 を使用する際は以下の注意事項を守って安全にお使いください。

▶ 電源について

標準的な 5V の USB 電源アダプターをご使用ください。

▶ 修理について

R1 はお客様ご自身で修理することはお勧めしません。いかなる場合も、R1 を分解したり、部品を取り出したり、改造したりしないでください。故障した場合は、R1 の使用を中止し、Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) で修理サービスを行っている販売店をお探しください。

▶ 湿度に関する注意

R1 を雨にさらしたり、水辺で使用したり、湿度の高い場所で使用したりしないでください。また、水滴が浸入しないよう、液体の入った容器（花瓶、グラスなど）には近づけないでください。万が一、水や液体が浸入してしまった場合は、すぐに R1 の電源を切り、ケーブル類をすべて取り外してください。修理に関する情報は、Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) でご覧いただけます。濡れた手でケーブルの抜き差しを行わないでください。

▶ 高温に注意

R1 内蔵の電池は交換できません。R1 を強い日差しに当てたり、燃えやすい物の近くに放置したりしないでください。

▶ 事故が起きたとき

以下のような事故が発生した場合は、すぐに R1 の電源を切り、修理については Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) をご覧ください。

- R1 から煙が出てきた、焦げたような匂いがする。
- R1 に物が入り込んでしまった。
- 落下、破損させてしまった。



お客様や周りの方々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、次のことを守ってください。

▶ 保管方法

転倒を防ぐため、不安定な場所には置かないでください。

誤作動を防ぐため、腐食性ガスや塩化ガスにさらさないでください。

ケーブル類はすべて取り外して保管してください。

▶ オーディオ機器との接続

R1 に接続する前に、オーディオ機器の電源を切ってください。電源のオン／オフをする前に、オーディオ機器の音量を最小まで下げてください。

▶ R1 を安全に使用するために

R1 の隙間や穴には指を入れないでください。

R1 の隙間に異物（紙、プラスチック、金属など）が入らないようにしてください。万が一、入り込んでしまった場合は、すぐに R1 の電源を切り、ケーブルをすべて取り外してください。最新の修理情報を Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) にてご確認ください。

R1 に体を乗せたり、重いものを載せたり、ボタンや電源スイッチ、端子に過度の力を加えたりしないでください。

耳を痛める恐れがありますので、スピーカーやアンプ、ヘッドホンなどで長時間、大音量を出さないでください。耳が聞こえない、または耳鳴りの症状がある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

お客様による R1 の誤用や不正改造による損害やデータの損失については、Robkoo は責任を負いかねます。

▶ 動作環境について

R1 は気温 -15°C から 45°C、湿度 5% から 75%、PH6.5 から PH7.2 の範囲内の環境でご使用ください。

お手入れ方法

▶ マウスピース

マウスピースを綺麗に保つため、演奏前に口をゆすいでください。マウスピースから本体内部に入り込んだ水滴はウォーター・ドレインから出ます。柔らかい布で拭き取ってください。

マウスピースは定期的に取り外して洗浄してください。マウスピースの下にあるリングを持ち、もう片方の手でマウスピースをゆっくり取り外してください。洗浄後、柔らかい布で乾拭きしてください。

▶ ファームウェアの更新

R1 のファームウェアをアップデートすることで、性能を向上させたり、バグの修正をすることができます。

ファームウェアのアップデートは R1 を JamKoo APP に接続して行います。

トラブルシューティング

問題点	対策
プレスが反応しない	R1 内に水がたまり、プレスセンサーがうまく反応していない可能性があります。 R1 を垂直にして、ウォーター・ドレインから水滴を出してください。
運指がうまく反応しない	電源をいれる時に演奏キー7つすべてに触れていると、演奏キーの反応が悪くなる場合があります。すべての演奏キーに触れ、同時に離すことで改善します。
他のスマートデバイスで R1 が検出されない	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ右上に Bluetooth アイコンが表示されているか確認してください。アイコンが表示されていない場合は、本体メニュー内 "Settings -System - BLE MIDI" で Bluetooth を有効にしてください。 使用しているアプリケーションがスマートデバイスから Bluetooth の使用を許可されているかどうか確認してください。許可されていない場合は、デバイスの設定でアプリケーションを許可してください。 Bluetooth MIDI は、使用するアプリケーション内で接続する必要があります。スマートデバイスのシステム設定から R1 を接続しないでください。
充電できない	使用している USB 電源アダプターが R1 に対応していない可能性があります。USB プロトコルに対応した他の USB 電源アダプターを使用してください。

問題点	対策
パソコンと接続したときに、ヘッドホン端子からノイズが出る	パソコンによっては、R1 を USB ケーブルで充電しているときにノイズが発生することがあります。USB 電源アダプターなど他の電源で充電するか、演奏中の充電を避けてください。
演奏中に音が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> 誤ってマジックキーを押していないか確認してください。(マジックキーが有効になっているとき) モーションコントロールが有効になっていないか、モーションコントロールが有効になる角度が小さすぎないかを確認してください。
音程が不安定	ピッチバンドホイールに触れていないかを確認してください。ピッチバンドホイールは "Settings -Advanced Settings" でオフにすることができます。
トランスポーズができない	現在のパッチバンクを確認してください。ユーザーパッチバンクの場合は、グローバルセッティングでのトランスポーズは適用されません。現在のパッチバンクはディスプレイ上のアイコンで確認できます。

パッチリスト

No.	Patch	Sound1	Sound 2
1	Tenor Saxophone	サスティーン	サスティーン 2
2	Soprano Saxophone	サスティーン	-
3	Flute	サスティーン	-

No.	Patch	Sound1	Sound 2
4	Recorder	サスティーン	-
5	Clarinet	サスティーン	サスティーン2
6	Oboe	サスティーン	-
7	Bassoon	サスティーン	ビブラート
8	Trumpet	サスティーン	サスティーン2
9	French Horn	サスティーン	サスティーン2
10	Violin	サスティーン	-
11	Pan Flute	サスティーン	-
12	RK Lead	サスティーン	-
13	Firefly	サスティーン	-
14	Qudi (Chinese Flute)	サスティーン+フラッター	ビブラート
15	Hulusi	サスティーン	ビブラート
16	Suona	サスティーン+フラッター	フラッター
17	Morin Khuur	サスティーン	ビブラート
18	Erhu	サスティーン	トレモロ
19	Pipa	ブラック+トレモロ	トレモロ
20	Guzheng (Chinese Zither)	ブラック	トレモロ

運指表

● 演奏キーをタッチ

○ 演奏キーを離す

▶ サックス運指 (デフォルト)

The chart displays the following notes and their fingerings:


- C3:** No fingers touched.
- C#3/D#3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot).
- D3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot).
- D#3/E#3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle).
- E3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle), 5th finger (white circle).
- F3:** No fingers touched.
- F#3/G#3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle).
- G3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle), 5th finger (white circle).
- G#3/A#3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle), 5th finger (white circle).
- A3:** No fingers touched.
- A#3/B#3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle).
- B3:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle), 5th finger (white circle).
- C4:** 1st finger (black dot), 2nd finger (black dot), 3rd finger (black dot), 4th finger (white circle), 5th finger (white circle).

通常の運指の1オクターブ上の音を、オクターブキーを使わずに鳴らすことができる運指が用意されています。

C4 C#4 D4

D#4/Eb4 E4

F4 F#4/Gb4 G4

 R1 と JamKoo App を接続することで、自分で作成した運指を設定することができます。R1 のファームウェアアップデートにより、新しい運指モードが利用可能になる場合があります。最新の運指表は Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) でご確認ください。

以下の運指は、演奏キーの上から6つを押さえたときに5thの音程が鳴る運指です。

▶ フルス運指

1=G

▶ ディズー運指

1=G

フルス運指、ディズー運指どちらもオクターブキーを使わずに1オクターブ上の音を出せる運指があります。:

MIDI メッセージ

MIDI モードでは、設定により以下の MIDI メッセージが接続したデバイスに送信されます。

MIDI メッセージ	コントロール	本体の設定
CC 1	ジャイロセンサー (モーションコントロール)	Motion Control - Vibrato
CC 2	ブレスセンサー	N/A
CC 5	(ポルタメントがオンになっている間送信されます)	Portamento Time
CC 7	ボリューム	Volume
CC 65	ポルタメント on/off	Magic Button - Portamento
		Motion Control - Portamento
		PB. Wheel - Porta./PB. Down
CC 68	レガート on/off	N/A
CC 80	General purpose 1 (R 1 では Sound 2 のオンオフに使用します)	Magic Button - Sound 2
		[+] Key - Sound 2
		[-] Key - Sound 2
		Motion Control - Sound 2
		PB. Wheel - Sound 2/PB. Down
CC 91	リバーブ	Reverb
Program change	パッチ切り替え	(FN & [+] key) - N/A
		(FN & [-] key) - N/A
		[+] Key - Next Patch
		[-] Key - Previous Patch
Pitch bend	ピッチバンド アップ / ダウン	Motion Control - Pitch Bend
		PB. Wheel - (except Off)
After touch	ブレスセンサー	N/A

仕様

電源	USB (Type-C) 5V=1.5A
バッテリー	2600mAh
消費電流	1.5A
搭載センサー	ブレスセンサー , ジャイロセンサー
バッテリー駆動時間	10 時間 (LED 消灯時) 6 時間 (LED 点灯時)
MIDI インターフェース	USB MIDI, BLE MIDI
出力端子	ステレオ 3.5mm TRS ヘッドホン出力 6.35mm TRS オーディオ出力
付属品	Type-C ケーブル、取扱説明書、クイックスタートガイド、ネックストラップ、マウスピース・キャップ、ケース、RMH87 (フルートスタイルマウスピース/島村楽器限定)
寸法	67cm (長さ) × 4cm (幅) × 5cm (高さ)
重量	425g (マウスピースキャップを含む)

内蔵の BLE モジュールは SRRC の認証を取得しています。CMIIT ID : 2016DJ4571

保証概要

保証とその他の法的権利に関する重要な情報です。必ずお読みください。

一年保証

Robkoo および正規代理店から購入された製品に対して、Robkoo は本製品が通常の使用において発生した故障において、購入から 1 年間の間無償にて修理または交換をいたします。保証期間は、店頭で購入された日、通信販売で購入された場合は製品が配達された日から 1 年間です。保証にはレシートなどの購入証明書や納品書が必要な場合があります。保証は購入者が製品を適切に使用した場合のみ適用されます。故障や不具合が、故意および過失による製品の破損によるもの、改造などの不適切なお取り扱いによるもの、または Robkoo が認定していない者、業者による修理が原因である場合、この 1 年間の製品保証は適用されません。

保証の対象となる製品を Robkoo または認定修理センターにお送り頂いた場合は、無償での修理または、Robkoo の判断で新品または機能的に同等な再生品へ交換いたします。

この保証ポリシーに基づくお客様の権利の詳細は、お客様のお住まいの地域によって異なる場合があります。詳細については、お近くの販売店にご相談いただくか、Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) をご覧ください。

お住まいの地域の法的権利について

お客様がお住まいの地域で適用される消費者法によっては、上記の 1 年保証よりも大きな保証の権利を有する場合があります。Robkoo の一年保証はお客様の法的権利に追加されるものであり、代わりになるものではありません。

お客様が本製品を購入、使用することで、本製品の使用により人または財産に生じた特殊な、間接的、結果的または付随的な損害について、Robkoo はいかなる場合も責任を負わないことに同意するものとします。一部の州法および国内法では、損害賠償の免責が認められない場合があります。この責任限定は、法律で認められている場合にのみ適用されます。

保証および修理に関するガイドラインは変更される場合があります。Robkoo の最新のポリシーは Robkoo 公式サイト (www.robkoo.com) をご覧ください。

米国連邦通信委員会 (FCC - Federal Communications Commission) 通信妨害に関する声明

本製品は、FCC 規則の第 15 条に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、一般住宅での使用において有害な干渉から妥当に保護するように設計されています。本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示に従わずに設置、使用すると、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、これらは特定の設置場所で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できます）、使用者は以下のいずれかの手段で干渉を修正するよう試みることを推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変える、または位置を変える。
- 本製品と受信機との距離を離す。
- 本製品を、受信機が接続されている回路とは別の回路にあるコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する。

本製品は、FCC 規則の第 15 条に適合していません。操作は、次の 2 つの条件に従ってください：

(1) このデバイスは他のデバイスに対し有害な干渉を引き起こしてはならない。(2) このデバイスは、思いもよらぬ動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければならない。

注意: 本製品は、有害な電波障害を発生させないこと、および、望ましくない動作の原因となる電波障害を含む、受信した電波障害を許容することを条件としています。

FCC IDENTIFIER: 2A76C-R1



Digital art crafting, sharing and learning made easy.

DIGITAL ART CRAFTING, SHARING AND LEARNING MADE EASY.

www.robkoo.com
contact@robkoo.com

Robkoo Information & Technologies Co., Ltd.